

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270500408		
法人名	社会福祉法人拓心会		
事業所名	グループホームわらび		
所在地 (電話番号)	〒037-0012 青森県五所川原市水野尾字懸樋222-5 (電話) 0173-38-3088		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 9日	評価確定日	平成 19年 10月 25日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <u>平成</u> 14年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16 人, 非常勤 人, 常勤換算 16 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	8,400 ~ 冬季15,900 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	150 円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要( 8月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	12 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	70 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	富田胃腸科内科・工藤歯科
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>広大な敷地と、市街地からさほど遠くない自然に恵まれた環境の中に立地されている。副管理者始め、スタッフ全員が、認知症の理解に努め、理念を言語だけに止めずケアそのものに反映、又、実践されている。何事に対してもポジティブな考えで、常に向上心を持って取り組む姿勢が見られる。利用者とのコミュニケーションも充実され、利用者の明るさ、満足度の高い表情が印象的である。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>緊急時の対応に關してのスタッフの不安に対し、緊急時のマニュアルに基づいたイメージトレーニングの実施、行政主催の救急法の講習会参加の計画がされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>救急法の講習会参加の計画はあるものの、まだ実行に至っていない。スタッフの不安を払拭する為にも、看護師の協力を得ての実践等、前向きな取り組みが期待される。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ホームの状況の理解や、課題等を明記・検討することで、第3者的な視点からのアドバイスや意見を真摯に受け止め、前向きに取り組んでいる。市・近隣地域との交流も積極的に行われ、地域に根ざしたホーム作りの努力がされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>利用者の状況説明は、あらゆる手段を用いて実施され、意見等に関しては可能な限り受け入れられているが、玄関前に苦情・意見箱を設置されている為、職員の目が気になり、なかなか苦情・意見を投書しづらい環境であることから、家族の立場にたった場所へ設置場所を変えるなどの工夫をすることを期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議や、五所川原市が主催する地域ケア会議、キャラバンメイト、近隣の保育園との交流、消防団と連携した避難訓練の計画と、地域との連携が少しずつ進展している。しかし今後、自治会や近隣の小中学校との交流などがあれば、より良い地域連携が図れると思われるので、期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者から職員の末端まで「利用者本位」の理念が隔々まで徹底されていることがとても強く感じる。		新規事業ということもあり、地域密着性の理念の面で、やや乏しい傾向があり、事業所内部だけの理念にとどめるのではなく、もっと前面に地域密着性に富んだ理念の構築に期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有のみに止まらず、管理者の認知症に対する専門知識をもとにスタッフ一丸となって、理念の実践をしている取り組みが見られる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	昨年までにはなかった消防団との交流の計画など、新しい試みが計画されていたりと日進月歩で地域と交流していこうという強い意欲がうかがえる。		地域とのつきあいや地域貢献という点に着目すると、受け身的な印象がもたれるので、事業所の立地性を考えて近隣の小中学校との交流や、自治会への加入、老人会などといった地域住民の積極的な交流と同時に、キャラバンメイト以外の認知症の普及活動にもより力をいれた能動的な活動が期待されま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年の外部評価からの課題の一つに「救急法の研修」などといったことも計画に組み込まれており、運営者を筆頭に、管理者から職員の端々まで一丸となり、ひとつずつ課題をクリアするべく取り組んでいる。</p>		<p>計画だけでなく、あらゆる手段を利用・活用し、実行に移すことが期待されます。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議による議事録からも建設的な意見交換が行われており、サービス苦情への飽くなき意欲が感じられる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域推進会議以外にも、五所川原市が主催する地域ケア会議や、消防団との合同の避難訓練の計画などと少しずつ新しい取り込みが実施・計画されている姿勢がうかがえる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要性は理解しているものの、内容の把握・研修・勉強会の実施には至っていない。</p>		<p>地域包括センター・行政の研修会等を活用し、学んで行く事を期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>市のマニュアルをもとに、日々スタッフ間で確認している。</p>		<p>ホーム独自の具体的な項目を明記したマニュアルの作成や、ケアの振り返りを検討・記録に残す事を期待します。</p>

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書・重要事項説明書・個人情報利用同意書を取るなどする際に説明義務を果たしており、利用者や家族に対する契約内容の十分な理解に努めている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	あまり面会のない家族には、年2回の会報を送付する際や、月1回の請求書類報告時に手紙を添付、特変事の電話連絡を行ったり、面会のある家族には、領収書を渡す際に口頭での情報提供をしたり、各種資料の確認等も行っている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会報で苦情や意見を募ったり、事業所内に苦情・意見箱を設置することで、サービス内容に反映しようとする取り組みが伺える。また、以前、意見のあった「面会票の機密性」が利用者の家族より提案されたことを受けて、早急に是正するというネットワークの軽さも確認出来た。運営会議に家族が出席していることで、事業所運営にも反映しようという積極的な姿勢が見られる。		事業所の玄関部分に苦情・意見箱を設置しているため、職員の目が気になり、利用者や家族等が苦情・意見箱に投書しづらい状況にあります。職員の目が気になりにくい物的・場所的な工夫が望まれます。
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	デイサービスやショートステイと職員が兼務していたり、法人関連施設が棟続きになっていることから、介護度が上がっても見慣れた職員の配置が実現されていることで、利用者へのダメージが少ないような工夫が法人内で練られていることが見て取れる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者の方針で、積極的に外部への研修・講習会への出席を勧めており、スキルアップや業務・サービス内容の向上に努めている。また、外部だけではなく、事業所内部における会合や研修会、ベテランから新人職員に対する声かけや、OJTの実践、職員間のコミュニケーションを図るために焼肉パーティーやボーリング大会なども行っており、円滑な職場環境の整備も取れている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>主として地域ケア会議や、西北五地区のケアマネ会議などで交流を持った同業他社の方と連携や連絡を取り合うことで、情報の交換・サービスの向上やネットワークづくりに努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>地域密着型サービスの機能を十分に活用し、違和感無く溶けこめるように、職員だけでなく、家族とも相談して積極的に取り込んでいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の都合や家族からの要請を優先させるだけではなく、利用者の「思い」を出来るだけ尊重しようと、事業所内部で職員が一丸となり、考えながら利用者の意思に沿えるような「気づき」をひとつでも多く見つけ、相互関係・信頼関係の構築に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの聞き取り、利用者の言動・行動・生活暦等を受容し、利用者本位のサービス提供に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画を見直す際に、定期的なカンファレンスだけではなく、利用者の現状に即応したフレキシブルなその人らしい介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスだけでなく、状態の変動があった際には介護計画を見直す為の話し合い開催し、現状に即した介護計画が作成されている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>運営者の方針で、小規模多機能型施設の装いは整っていることから、デイサービスやショートステイとの人的物的連携もすでに構築済みであり、利用者やその家族のニーズに即応した柔軟なサービスの提供がいつでもなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>近場の医療機関や嘱託医の医療機関だけに頼らず、利用者のニーズや思いを尊重して、たとえ遠方になろうとも、利用者と自宅がある地域との交流を損なわないように、自宅周辺だが施設から遠い主治医の医療機関まで診察に連れて行くなどの心配りが出来ている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時に、ラインを明確に説明し、家族の理解・了承を得ると共に、終末医療や重度化した利用者も退居することなく継続的に在所出来るように尽力しており、また家族間とも連携して方針の共有化に努めている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>基本的にプライバシー保護を遵守しているが、紋切り型の保護ではなく、時には利用者の居室前の表札を家族にしっかりと同意をいただいた上で、遊び心も取り入れながら芸術的に飾っていることから、家庭的な施設にも配慮したプライバシー保護にも取り組んでいる。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者が好きな日曜大工や子守りなどと言った若い頃に日常的に行っていた習慣や、利用者の思い出の品を積極的にグループホーム内に持込んでもらう等、利用者のことを尊重しようとしている試み・支援が生かされている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>在宅時に利用者が使っていた茶碗やお箸の持込を認めていたり、誕生日に利用者の好きな食べ物を出すといった利用者本位の食生活が支援され、食器の後片付け等の共同作業で、楽しい時間の共有が出来ている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>昨年の外部評価からの課題の一つに「利用者の好きな時間の入浴」があったが、現在では夜間の入浴も開始されており、曜日別の入浴ではなく、あたかも自宅にいるかのような気分を少しでも演出しようとする工夫や改善がなされている。また、重度化した場合、機械浴が必要な方については多機能性を生かして、デイの浴槽を利用することも想定している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>ミズの皮剥きや、食器洗い、日曜大工などといったそれぞれの利用者に即応した役割分担が提供され、利用者の生活意欲を損なわない工夫が施されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩がてら公園に出かけたり、入所前の地域の祭りといった外出も積極的に取り入れている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止行為の理解や、事業所・法人内での会議等実施を行っており、身体拘束をしないケアを実践している。		漠然とした決め事ではなく、研修会への参加等で更に理解を深め、ホーム内での勉強会や、独自のマニュアルの作成等、積極的な取り組みを期待します。
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	認知症が進んでいる徘徊癖のある方がいるからといって、居室に鍵をかけることないケアが実践されている。また、事業所の玄関にも施錠しないように、出入りを知らせるセンサーを設置するなどといった工夫が施されている。		センサーの音が大きく、何度も作動するため、入所したての利用者や来客には、かなり気になります。出来るだけ不自然ではないセンサー音のものにするなどの工夫が望まれます。
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人内の他施設との合同で、年二回避難訓練を実施するだけでなく、地域の人々の協力を得られる体制が確保され、事業所独自に地元の消防団と連携して夜間の避難訓練を行うことになっている。また、マニュアルの整備や、職員間の打ち合わせなどでも話し合いが行われている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の生活リズムになるべく沿うような工夫をしつつ、一定の水分量の確保が出来る様にもしている。正確なカロリー計算はされていないが、量の調整等で糖尿病などのカロリー制限が必要な利用者にも対応した栄養バランスを考えた食事提供が行われている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルの整備や研修、事業所内部での啓蒙活動、定期的な消毒などを積極的に行っており、細かい知識の習得や理解も実践されている。家庭的な雰囲気を損なわないように工夫して手洗所に消毒スペースを確保するなどのさりげない取り組みも行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓からは田んぼが見え、上部からはふんだんに太陽光を取り入れたりと、四季折々の季節感を取り入れるなどの工夫が見られ、落ち着いた色調で統一され、家庭的な雰囲気を損ねないような努力している。		ユニット間の事務スペースにも一工夫することで、なるべく家庭的な雰囲気を損なうことのないような環境整備の取り組みが期待されます。また、重複するが30で述べたセンサー音にも配慮することが期待されます。
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	孫などの家族の写真や、配偶者の形見などを持ち込むことで、可能な限り自宅に近い環境を整える配慮がうかがえる。		

 は、重点項目。